

1) 出題の中心は、やはり周産期！

【111 AM64】 マタニティブルーズ maternity blues について正しいのはどれか。

1. 意欲低下が主症状である。
2. 症状は 2 週間以上持続する。
3. 好発時期は産後 1 か月ころである。
4. 産後のホルモンの変動が要因となる。

【111 PM64】 A さん（32 歳、初産婦）は前置胎盤のため妊娠 37 週 0 日の午前 10 時から帝王切開術を受ける予定である。

手術前日の看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 浣腸を行う。
2. 夕食が禁食となっているか確認する。
3. 輸血の準備ができていないか確認する。
4. 下肢に間欠的空気圧迫装置を装着する。

【110 AM58】 妊娠の初期と後期のどちらの時期にも起こるマイナートラブルはどれか。

1. 下肢静脈瘤
2. 掻痒感
3. つわり
4. 頻尿

【109 AM63】 正常に経過している妊娠 36 週の妊婦が、次に妊婦健康診査を受診する時期として推奨されるのはどれか。

1. 4 週後
2. 3 週後
3. 2 週後
4. 1 週後

【109 PM63】 順調に分娩が進行している産婦から「腔から水っぽいものが流れ、下着が濡れた」と看護師に訴えがあった。流出したものを確認すると、量は少量で、羊水特有の臭いを認めた。

その時の産婦への対応で優先されるのはどれか。

1. 更衣を促す。
2. 体温を測定する。
3. 食事摂取を勧める。
4. 胎児心拍数を確認する。

【104 PM 78】 Aさん(28歳、初産婦)は、妊娠11週である。身長160cm、体重52kg(非妊時体重50kg)である。現在は身体活動レベルⅠ(非妊時は身体活動レベルⅡ)で妊娠経過は順調である。現時点で非妊時と比べて食事に付加することが望ましいのはどれか。

1. 糖質
2. 葉酸
3. 蛋白質
4. カリウム
5. カルシウム

【103 追試 AM 64】 産褥1日に行う子宮復古を促進するケアはどれか。

1. 排尿を促す。
2. 安静臥床を促す。
3. 下肢の挙上を促す。
4. 腹部に温罨法を行う。

2)「性」に関連した問題が多く出題されることがある！

【111 AM 61】 ジェンダーの定義について正しいのはどれか。

1. 生物学的な性
2. 社会的文化的な性
3. 自己認識している性
4. 性的指向の対象となる性

【105 PM 54】 性的対象とその性的指向の分類との組合せで正しいのはどれか

1. 同性———トランスセクシュアル
2. 異性———ヘテロセクシュアル
3. 両性———ホモセクシュアル
4. なし———バイセクシュアル

【107 AM 54】 性同一性障害〈GID〉/性別違和〈GD〉について正しいのはどれか。

1. 出現するのは成人期以降である。
2. ホルモン療法の対象にはならない。
3. 生物学的性と性の自己認識とが一致しない。
4. 生物学的性と同一の性への恋愛感情をもつことである。

【104 PM64】 セクシュアリティの意義と関連する事項の組合せで正しいのはどれか。

1. 生殖性の性———ジェンダー
2. 性別としての性———常染色体
3. 連帯性としての性———種の保存
4. 性役割としての性———社会的規範

3) 状況設定問題は、周産期の問題で占められている！

【111 PM106～108】 Aさん（34歳、初産婦）は順調な妊娠経過であった。妊娠40週5日の午前8時、10分毎の規則的な子宮収縮を主訴に来院し、医師の診察の結果、入院となった。入院時の胎児心拍数基線は130bpm、胎児の推定体重は3,300gであった。

〔問題 106〕 入院時のAさんと胎児の状態で正しいのはどれか。

1. 過期産である。
2. 高年妊婦である。
3. 胎児心拍数基線は正常である。
4. 低出生体重児となる可能性が高い。

〔問題 107〕 午後0時、助産師が内診したところ、子宮口開大4cmであった。Aさんは陣痛発作時に腰痛を強く訴えている。Aさんの夫（37歳）は、夫婦で出産体験を共有したいと両親学級を受講しており、入院時からAさんに付き添っている。夫はAさんの陣痛発作時、心配そうにAさんの様子を見つめているが、陣痛間欠時にはうとうとしている。訪室した看護師に、夫から「妻が痛がっているのですが、どうすればよいでしょう」と質問があった。胎児心拍数基線は140bpmであった。

このときの看護師の夫への対応で最も適切なのはどれか。

1. 別室での休憩を促す。
2. 分娩経過について説明する。
3. Aさんと病棟内を歩行するように促す。
4. 産痛を緩和するためのマッサージの実施を促す。

〔問題 108〕 Aさんの分娩は順調に進行した。午後5時に破水し、午後6時には子宮口開大8cmとなった。「便が出そうです。もう、これ以上頑張れない」と陣痛発作時には全身に力が入っている。

このときの看護師の声かけで正しいのはどれか。

1. 「リラックスするためにお風呂に入りましょう」
2. 「赤ちゃんのために我慢しましょう」
3. 「トイレに行って排便しましょう」
4. 「息を吐いて力を抜きましょう」

【110 AM109～111】 Aさん(29歳、初産婦)は、妊娠37週0日で2、780gの男児を正常分娩で出産した。出生後5分の児の状態は、心拍数150/分、四肢を屈曲させて啼泣している。顔面を清拭されると激しく啼泣し、全身はピンク色である。

〔問題 109〕 このときの児のApgar〈アプガー〉スコアは何点か。

1. 10点
2. 8点
3. 6点
4. 4点

〔問題 110〕 出生後1時間。児の状態は、直腸温37.0℃、呼吸数40/分、心拍数120/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉96%(room air)、四肢冷感やチアノーゼを認めない。哺乳は開始していない。

Aさんの経過は順調である。

このときの児への看護で適切なのはどれか。

1. ビタミンK₂シロップを経口投与する。
2. 風通しの良いところに児を寝かせる。
3. 先天性代謝異常検査を行う。
4. 早期母子接触を行う。

〔問題 111〕 産褥4日。Aさんは、血圧112/80mmHg、脈拍76/分、Hb11.2g/dL、Ht37.0%。子宮底を臍下4横指に硬く触れる。悪露は赤褐色で少量。凝血の混入や悪臭はない。乳房は緊満しており移行乳が分泌している。Aさんは「夜中も3時間ごとくらいに授乳をするためほとんど眠れていません」と話している。表情は穏やかである。

Aさんのアセスメントとして適切なのはどれか。

1. 貧血である。
2. 産後うつ病である。
3. 子宮復古は順調である。
4. 乳汁分泌が遅れている。

【108 AM106～108】 Aさん（34歳、初産婦）は、夫（37歳、会社員）と2人暮らし。事務の仕事をしている。身長157cm、非妊時体重54kg。妊娠24週4日の妊婦健康診査時の体重58kgで4週前から1.5kg増加している。血圧128/88mmHg。尿蛋白（±）、尿糖（－）。浮腫（±）。Hb10g/dL、Ht30%。子宮底長22.5cm、腹囲84cm。胎児推定体重700g。非妊時より白色の膣分泌物は多いが、掻痒感はない。

〔問題106〕 Aさんの妊婦健康診査時のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 妊娠性貧血
2. 膣カンジダ症
3. 胎児発育不全（FGR）
4. 妊娠高血圧症候群（HDP）

〔問題107〕 妊婦健康診査後、Aさんは看護師に「毎朝30分、電車内で立ち続けているので職場までの通勤がとても疲れます」と話した。看護師はAさんに、就労する妊娠中の女性に関する制度について説明した。

Aさんがこの時点で取得できるのはどれか。

1. 産前休業
2. 時差出勤
3. 就業の制限
4. 所定労働時間の短縮

〔問題108〕 Aさんは夫に付き添われ、妊娠35週4日に妊婦健康診査を受けた。体重62kg、血圧126/76mmHg。尿蛋白（－）、尿糖（－）。浮腫（±）。子宮底長30cm、腹囲88cm。Aさんは看護師に「膝の裏の血管が膨らんで、青く浮き出てきました。夕方になると足がだるくなり、夕食の準備のため立っているとつらくなります」と言う。

Aさんへの指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 「水分を控えましょう」
2. 「体重を減らしましょう」
3. 「ガードルを着用しましょう」
4. 「弾性ストッキングを着用しましょう」
5. 「寝るときは足を高くして横になりましょう」

【107 PM118～119】 Aさん（34歳、経産婦）は、夫（35歳）と長男のB君（3歳）との3人暮らし。これまでの妊娠経過に異常はなかった。20時に体重3、150gの男児を正常分娩した。分娩所要時間は6時間30分、分娩時出血量は480mLであった。第1度会陰裂傷のため、縫合術を受けた。その他の分娩の経過に問題はなかった。

〔問題118〕 Aさんは翌日の2時に尿意があり、自然排尿があった。8時に「昨夜は後陣痛の痛みが強くて眠れませんでした。おっぱいを飲ませたら、後陣痛がさらに強くなって、汗が出てきました」と言う。子宮底の高さは臍高、子宮は硬く触れ、血性悪露が中等量みられる。Aさんのバイタルサインは、体温37.0℃、脈拍68/分、血圧125/70mmHgであった。

このときのAさんへの対応で適切なのはどれか。

1. 授乳を促す。
2. 入浴を勧める。
3. 骨盤底筋体操を指導する。
4. 鎮痛薬の使用を医師に相談することを伝える。

〔問題2〕 産褥5日。Aさんの退院のため、夫とB君が迎えに来た。AさんはB君の自宅での様子を夫から聞いた。B君は「ご飯を食べさせてほしい」と訴えたり、「赤ちゃんを家に連れて来ないで」と泣いたりしていたという。そのことを知ったAさんはB君を抱きしめ、B君の話をゆっくり聞いていた。Aさんは退院後のB君への対応について心配になり、看護師に相談した。

Aさんへの説明で最も適切なのはどれか。

1. 「B君に好きな物を食べさせましょう」
2. 「B君の世話は夫にしてもらいましょう」
3. 「B君と一緒に赤ちゃんの世話をしましょう」
4. 「B君に兄としてしっかりするように話しましょう」

【106 PM103～105】 Aさん（26歳、経産婦）は、夫（30歳）と長女（2歳）の3人で暮らしている。妊娠37週2日、これまでの妊娠経過に異常はない。9時に陣痛が開始し、10時に夫に付き添われ入院した。入院時、陣痛間欠9分、陣痛発作30秒であった。内診所見は子宮口2cm開大で、少量の羊水の流出を認めた。羊水混濁はなかった。21時30分に子宮口全開大、22時30分に3、200gの男児を正常分娩で出産した。会陰裂傷は第2度。23時に胎盤娩出し、子宮底の位置は臍高で硬く触れた。児のApgar〈アプガー〉スコアは1分後8点、5分後9点。分娩2時間後、子宮底の位置は臍下1横指で硬く触れた。分娩時出血量は360mL。

〔問題 103〕 Aさんの分娩時のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 正期産である。
2. 適時破水である。
3. 遷延分娩である。
4. 分娩時出血量は異常である。

〔問題 104〕 Aさんは、翌日1時に帰室した。5時、尿意はなかったが、トイレでの排泄を促し排尿がみられた。排尿後の観察で、子宮底の位置は臍下1横指で硬く触れ、悪露は赤色で量は中等量であった。会陰縫合部に異常はないが、痛みがあるため円座を使用している。

Aさんへの対応で適切なのはどれか。

1. 「下腹部を温めましょう」
2. 「水分摂取を控えましょう」
3. 「腹筋を強化する体操をしましょう」
4. 「尿意がなくても3～4時間ごとにトイレに行きましょう」

〔問題 105〕 産褥3日。Aさんは母乳育児を希望している。Aさんの乳房の形は左右ともⅡa型で、乳房は緊満している。両乳頭に損傷はない。左腋窩に副乳があり「腫れて痛い」と話す。本日の児の体重は3、100gであった。

Aさんに対する看護師の援助で適切なのはどれか。

1. 左腋窩に冷罨法を行う。
2. 乳房マッサージを行う。
3. 3時間ごとの授乳を勧める。
4. 左乳房での授乳を中止する。